



船橋市議会議員（市民社会ネットワーク）

浦田秀夫通信

115号
2016年春月号

自宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019
事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350
メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ浦田秀夫で検索

人間ドック費用の助成実現

28年度の市議会第1回定例会が開かれ、市の新年度の予算などが審議されました。市民の皆さんからのご要望をいただき、その実現を求めてきた人間ドック費用への助成が28年度から実施がされます。今度の議会では、皆さんから寄せられた市政アンケートに基づいて、人間ドック助成、シルバーパスの発行、アンデルセン公園の子ども入園料無料化、北習志野駅周辺の駐輪場問題、地域包括ケアシステム、待機児童対策、住宅政策、公立図書館の民営化問題、公契約条例の制定などについて取り上げ本会議や予算委員会で質問しました。

助成額は1万3千円

脳ドックは補助対象外

市が人間ドック助成制度を導入したことは評価しながらも、市政アンケートに寄せられた市民の関心・要望の高さを紹介しながら、助成額がすでに実施している他市より低く、脳ドックが助成対象になっていないことを質しました。

市は、「被保険者間の平等性を考慮し、特定健康診査相当分の1万3千円とした。脳血管疾患の発症原因となる血圧、脂質、血糖などの検査が特定健康審査に含まれている。脳疾患の予防のための健康指導も実施している」と答弁。

答弁に対して、特定健康診査や健康指導を実施し、脳の動脈瘤の原因を減らしていく取り組みも重要だが、脳ドックによって脳疾患の発見、発症の予防、早期治療することは、国民健康保険や介護保険の給付を減らすことになると指摘しました。

千葉市では費用の5割、18,000円を補助し、脳ドックも対象にしていること。自治体によっては7割・10割を補助していることを紹介し、脳ドックを助成対象にすることや助成額の増額を今後検討することを求めました。



バスのシルバーパスの発行を

市政アンケートの結果では、無料なら賛成33%、一部個人負担があっても賛成が53%で、賛成が合わせて86%で、市民からの強い要望があることを紹介しました。



民間バス事業者が発行するシルバーパスに市が一部助成するという形で発行を検討できないか質問しました。

市は、高齢者の移動手段として中心的な役割を担っているのは、鉄道やバスであることは認

識しているが、高齢者の飛躍的増加により、大幅な財政負担増が見込まれるので、現在の所は、民間バス事業者が発行するシルバーパスに市が一部助成することは考えていないと答弁しました。

答弁に対し、横浜市の敬老パスは対象が70歳以上で、負担額は所得によって無料から20,500円となっており、福祉タクシーとの選択制になっていることや対象者の57%にパスを交付していることを紹介し、他市の制度も調査・検討することを求めました。

市は、現時点では考えていないが、他市の制度を調査・検討していきたいと答弁しました。

アンデルセン公園

子ども入園料の無料化を

アンデルセン公園の子ども入園料無料化についても、市政アンケートに寄せられた賛否両方の意見を紹介し、昨年の9月議会で「アンデル



セン公園の管理運営費に負担がかからない方法で、入園料を含めた子どもたちの利用機会を増やす対策を検討していきたい」と答弁しましたが、どのような検討がされたのか質問しました。

市は、5月5日の子どもの日の他、新たに4月2日、6月15日、3月3日の3日間を中学生以下の入園料を無料にすること。これまでの市内の認可保育所、小中学校に加え、新たに認証保育所や放課後ルームが団体で申し込んだ場合に入園料の無料化を4月から施行すると答弁しました。

無料化の日数や対象を拡大したことは一歩前進と評価しましたが、引き続き入園料を含めた子どもたちの利用機会を増やす対策を検討することを要望しました。

北習駅前にも公衆トイレの設置を

市政アンケートで北習志野駅前に公衆トイレを設置してほしいとの要望があり質問しました。

市からは、当駅の駅ビルを建設するときに検討したが、適当な場所が見出せなかったことから断念した経過があり、駅ビルの飲食店からは遠慮してほしいとの話もあり、公衆トイレ設置は難しいとの答弁がありました。

北習商店街歩道の放置自転車

28年度中に方針を策定

北習志野駅商店街（JuJuきたなら）の歩道上の400台ほどの放置自転車対策について、歩行者の安全を確保する観点からこれ



までも度々取り上げてきましたが、26年度の12月議会で、市は「道路管理者や警察とも協議の上、商店会の方と再度話し合いをしていきたい」と答弁しました。

すでに1年以上が経過しましたがどのような協議、話し合いがされたのか質問しました。

市は、市の自転車駐車対策協議会の中に北習志野駅周辺の放置自転車対策について分科会を設置し、地元の商店会、警察と協議し、28年度中には問題解決にむけた方針を策定したいと答弁しました。

北習志野駅前広場に

機械式地下駐輪場設置へ

平成22年9月議会で、用地確保が難しい北習志野駅前に機械式地下駐輪場を設置することを提案しましたが、26年12月議会でようやく「北習志野駅周辺は用地の確保が困難であることから、機械式地下駐輪場も有効な手法の一つと位置づけ、設置を検討していきたい」との答弁がありました。

28年度、機械式地下駐輪場の整備が可能かどうかを調査する地下埋設物調査予算が計上されました。今後のスケジュールなどについて質問しました。

市からは、地下埋設物など機械式地下駐輪場整備に支障となるものがないかを調査し、支障がなければ、規模や施工方法を検討し、警察やバス、鉄道、タクシー業者との事前協議を行い、工事の工法やスケジュールなどを確定したいとの答弁がありました。

懸案であった、北習志野駅前広場への機械式地下駐輪場の建設に向けて大きく動き始めることになりました。

予算特別委員会

図書館の民営化は反対

一般会計の内、図書館指定管理者選定委員会報奨金等と除去土壌等処分業務委託費は賛成できないとして予算組み替え動議を出しました。



図書館指定管理者選定委員会報奨金等は、中央・東・北図書館への指定管理者制度導入（民営化）に向け、事業者の選定を行うための予算です。

図書館サービスは、情報に基づいた自立的に行動する市民を育てる、市民社会の担い手を育てるという公共性の高いサービスであること。

無料で利潤を生まない図書館サービスの提供に株式会社が参入してくることが想定されていますが、会社が利潤を得ようとすれば、人件費の削減と図書の見直し・購入によるしかないこと。

事前に議会や市民への説明、意見聴取が行われておらずあまりにも拙速すぎる。もう一度民主的な手続きを経た上で予算計上することを主張しました。

学習支援の拡大などは評価

一般会計予算の内

- ①生活困窮世帯や一人親世帯の子ども達への学習支援事業を2箇所から4箇所に拡大したこと。
- ②保育士の処遇改善・確保策として、国が定める公定価格に上乗せして市が補助している保育所運営補助金を月額、24,950円から31,980円に改善したこと。
- ③市内の保育所に勤務することを条件に就学貸付資金の全額免除などを行うこと。
- ④市民から要望の強かった人間ドック助成制度を導入したこと。
- ⑤駐輪場用地が確保できなかった北習志野駅前、機械式地下駐輪場設置にむけた地下埋設物の調査予算を計上したこと。
- ⑥ゲリラ豪雨によって氾濫する木戸川の改修工事、上流地域の雨水管整備などが進み、新たに二和川、駒込川の改修、水害対策に着手するための予算を計上したこと。
- ⑥新たに就職発表会を開催するなど、障害者就労支援事業を拡充したことなどは評価しました。

メディカルタウン構想

海老川上流地区

無秩序な開発が進んでいる海老川上流地域のまちづくりについて、これまで地権者の合意が得られず挫折してきた経過を踏まえて、市がこの地区を「自然との調和を図りながら、市立医療センターを移設し、医療・福祉機能をまちの中核とするメディカルタウン構想」という新たな方向性を示し、地権者との話し合いを進めていくという方向性は概ね理解できるものです。

しかし、地盤の弱い地域で大震災に備えた地盤の強化（液状化対策）や水害に備えた海老川調整池事業の進捗との整合性、地権者と合意、医療センターの規模や医療機能の拡充、財源の確保など課題が山積しています。

今後10年単位となるこの事業については、議会に十分な情報を提供し、また意見交換をしながら事業を進めることを要望しました。

地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムの構築については、各地域福祉圏の医療・介護・住まいなどの資源の現状の実態調査を行い数値目標を定めた計画を策定すること。



市内の中核病院で、自ら医療・介護・住まいの資源を持ち、地域包括ケアシステムと同様なシステムを構築し実践している医療機関との連携を図ること。市民から見ても分かるような情報を提供することを求めました。

児童相談所の設置を

市長の公約でもある児童相談所の設置について、市長の市政執行方針では触れられていないことを指摘しました。

国が中核市と23区に対して、急増する児童虐待の相談にきめ細かく対応するために、児童相談所設置にむけた施設整備費や人件費などの財政支援、専門的な人材を育成するための支援を行う新たな方針を決めたことを紹介し、設置にむけて積極的に検討を開始することを求めました。

待機児童ゼロの実現を

待機児童は、27年4月1日現在1,067人でしたが、28年度はこれよりかなり少ない見込みであることや28年度は1,173人の定員増を図る



予算が計上されましたがこれを持ってしても待機児童「ゼロ」になるとの明確な答弁はありませんでした。

待機児童「ゼロ」実現するために、認可保育所などの施設整備、市立保育園で定員割れが生じないように保育士の確保、民間保育園での保育士確保のために待遇改善を図る保育所運営補助金の増額、臨時保育士の非常勤一般職員化や賃金の引き上げなどの待遇の改善を図ることを求めました。

ふなばし三番瀬環境学習館

ふなばし三番瀬環境学習館は、三番瀬に生息する多様な生物や東京湾漁業の歴史、三番瀬が果たしている東京湾の水質浄化機能などを市民が学び体験することによって、三番瀬の保存の必要性やラムサール条約登録への機運が高まるような施設にすることが必要。



そのためには運営や展示に専門家や自然環境保護団体意見が反映される仕組みが必要だと意見を述べました。

公契約条例の制定を

5年連続で公共工事の労務単価が引き上げられましたが、公共工事では、重層的な下請構造が多く、最下部層で現場作業に従事する労働者は、低賃金で就労を余儀なくされています。



こうした労働者の賃金水準を引き上げ、公共工事や公共サービスの質を確保するために公契約条例を制定することについて、27年4月に制定した我孫子市の公契約条例を紹介しながら、検討することを。また、非正規職員の待遇改善についてもいっそう務めることを求めました。

住宅政策については、子育て世帯、高齢者、障害者、低所得者、災害被災者など政策的に必要な市営住宅を確保し、子育て支援世帯への家賃助成制度などを検討すること。

特別養護老人ホームについては、要介護度の高い方や一人暮らし、老老世帯の方が待機しなくても済むよう引き続き施設整備を行うこと。

老朽化した校舎の改修やトイレの改修は、7年間で250億円をかけた耐震改修と同様の財政規模とスピード感をもって実施すること。

東部公民館の建替え 東部公民館は地元だけでなく立地場所からいって多くの市民が利用しています。建て替えに当たっては、駐車場、図書館の図書室、小ホールの整備を図ること。

救急車の救急搬送の時間短縮に取り組むことなどを要望しました。

小西ひろゆき 船橋勝手連

小西ひろゆき参議院議員(千葉選挙区・民進党)勝手連を結成しました。「安倍政権を許さない」と頑張っている小西ひろゆきさんのポスターをあなたのお宅の扉などに貼らせてください。ご連絡をお待ちしています。



福島みずほ 船橋応援団

福島みずほ参議院議員(全国比例区・社民党)の応援団を結成しました。「政治を市民にとりもどす」と健闘している福島みずほさんのポスターをあなたのお宅の扉などに貼らせてください。ご連絡をお待ちしています。

